

第5学年「音楽科」シラバス

5年生ではこんな学習をします

学習の目標

- (1) 創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てます。
- (2) 音の重なりや和声の響きに重点を置いた活動を通じて、基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにします。
- (3) 音楽の美しさを味わって聴き様々な音楽に親しむようにします。

学習の方法

- ・ 学習した曲を、学校や家庭いろいろな場で、友だちと合わせて歌ったり器楽合奏し、目的に応じた様々な表現活動を行います。
- ・ 総合的な学習と関連を持たせ広がりのある活動を行います。

学習の評価

音楽科では次の観点で評価します。
音楽に関心をもち、創造的に活動しようとする。

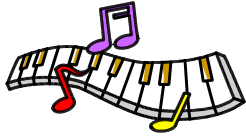
表現及び鑑賞に関する行動、発言態度等 取り組み状況の観察、演奏の聴取
音の重なりや和声の響きを感じ取り、表現や鑑賞の仕方を工夫できる。

表現及び鑑賞に関する行動、発言態度等 取り組み状況の観察、演奏の聴取
響きのある声で歌い、音色の特徴を生かして楽器を演奏できる。

表現の技能、理解等のテスト（自己・相互評価を加味）
学習プリントなどの提出物等
楽曲の構成に気をつけ、曲想を全体的に味わって聴くことができる。

表現及び鑑賞に関する行動、発言態度等 学習プリントなどの提出物等

年間の学習計画

	学習する題材	学習の内容
前期 26H	1 ふしの重なり合いを感じ取ろう ・ 声や音が重なり合う響きを感じ取って、歌ったり演奏したりすることが出来る	歌声のひびき合いを感じながら合唱します。 歌と楽器のひびき合いを感じながら演奏します。
	2 アジアの音楽に親しもう ・ 旋律の特徴や響きの違いを感じ取りながら、アジアの音楽に親しむようにする	アジアのいろいろな国の音楽を聴きます。 ふしの特徴を感じながら、聴いたり歌ったりします。 日本のふしや楽器に親しみながら、おはやしをつくります。
	3 いろいろなひびきを味わおう ・ 音色や響きの特徴を味わって、想像豊かに聴いたり表現したりすることが出来るようにする。 ・ 旋律と低音の響きを感じ取って、演奏の仕方を工夫することができるようにする。	弦楽器の音をきき比べます。 歌と楽器が重なり合う響きを感じながら演奏します。 
後期 24H	4 重なり合う音の美しさを味わおう ・ 和音の響きの美しさを味わって聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・ 和音の響きの変化を感じ取って、演奏の仕方を工夫することができるようにする。	和音の響きの移り変わりをを感じながら演奏します。 和音の響きを楽しみながら合唱します。 音が重なり合う響きの美しさを味わいながら、聴いたり合奏したりします。
	5 曲想を感じ取ろう ・ 曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表情豊かに表現したりすることが出来るようにする。 ・ 曲想や歌詞の内容を生かして、表現の仕方を工夫することができるようにする。	短調の気分を感じて歌います。 曲想を味わいながら聴きます。 曲想を生かして合奏します。
	6 日本の音楽を味わおう ・ 歌詞と旋律のかかわりや人の声の特徴を感じ取って、日本の歌曲の美しさを味わうようにする。	言葉の美しさを味わいながら、日本の歌曲を聴きます。
	7 心をこめて演奏しよう ・ 心をこめて演奏したり、気持ちを合わせて表現したりする喜びを味わうようにする。	歌詞の表す気持ちを大切にしながら歌います。 